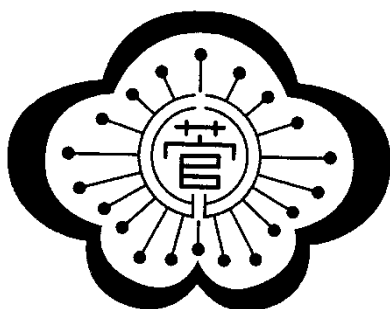


令和8年度

「運営に関する計画」



～自分大好き! 友だち大好き! 菅北大好き!～

大阪市立菅北小学校

令和8年4月

I 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、北区の下町であり飲食店が軒を連ねた商店街の隣に位置する。児童は、素直でまじめな子どもが多く、落ち着いた学校である。それに伴い、学習や活動に自主的であったり積極的に取り組もうとする意欲が低い傾向にある。

全国学力状況調査や大阪市経年調査の結果から、国語算数では、ほぼ平均点のあたりに位置している。児童の意識調査でも肯定的な回答の比率は、全国・大阪市と同率の割合であるが、最も肯定的な回答の割合に注視すると全体的に低い傾向にある。

また、運動面では、運動場が狭く、50mを直線で走ることができない環境である。狭いが故に、狭くても教室でもできる体幹を鍛える独自体操や体育の授業や体育行事の工夫をしているが、全体的に運動能力は低い。

この数年、学校選択制の導入から選択による入学より他校を選択する家庭が増えつつあり、学級数の減少があり、単学級の学年も半数あり、学校運営にも支障をきたしつつある。魅力的な学校を実現し、1年生の流失を防ぎ、選んでもらえる学校づくりの実現を目指さなければならない。

魅力ある学校づくり、児童が意欲的に取り組める学習環境の整備や授業の改善をしなければならない。基礎基本の習得は当然のことながら、児童が自尊感情を高めることで、全ても面において積極的、意欲的に取り組もうとする姿勢をつけていかなければならない。

また、家庭学習の弱さがみられることから、家庭学習や自主学習を強化して、児童の主体的な学習の向上を図っていく必要がある。

特に下記に示す項目については、現状を踏まえて、改善をしていかなければならない。

- 令和7年度末の経年調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか。」という項目に対して肯定的に回答する児童の割合は、大阪市の83.5%に対して、本校の割合は、79.9%である。大きなトラブルやいじめなどはほぼない状態ではあるが、「学校が楽しい」という意識にまでは育っていない。学校が楽しいという意識の中で、積極的、意欲的に学校に来て、学習や活動に努める児童の割合を高めて、児童の意識の活性化を一層、向上させる必要がある。
- 令和7年度末の経年調査において、「自分には良いところがありますか。」の項目で、肯定的な回答をした割合は、大阪市82.0%、本校82.2%とほぼ同率ではあるが、本校の基本方針として「自尊感情を基盤とした児童の学力、活動の意欲の向上を掲げて教育活動を推進していることから、児童の自尊感情を一層高めることが求められる。
- 大阪市経年調査で、国語算数について、両科目ともに大阪市の平均点を上回る状態を維持する。調査対象学年、4学年ともに平均点を上回るようにする。
- 令和7年度末の経年調査において、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という項目に対して肯定的な回答をした児童は、大阪市79.3%である。本校が78.0%となっている。話し合う活動や学習を積極的に取り込んで、主体的、対話的で深い学びの実現を進めていく必要がある。
- 令和7年度末の経年調査において、「読書が好きだ」という項目に対して肯定的な回

答をした児童は、大阪市平均が70.5%で、本校は78.6%と8%以上上回っている。この数値を維持し、読書が好きな児童を90%以上にし、言語力向上に努めていく。

- 令和7年度末の経年調査において、「運動やスポーツをすることは好きですか」と肯定的に回答する児童で大阪市平均は87.1%、本校が87.2%である。運動についての意欲は平均と同様であるが、全国運動能力調査では、多くの分野で平均を下回る。思いっきり体を動かす環境は十分ではないが、運動する機会や工夫をして、運動能力の向上を図る必要がある。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童を86%以上にする。
 - ・ 令和11年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、必要な対応をした割合を令和11年度末まで100%を維持する。
 - ・ 年度末の校内調査において、不登校・登校渋り児童の在籍率を毎年減少させる。
 - ・ 11年度末において「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」の割合を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。
 - ・ 小学校学力経年調査における国語及び算数の正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
 - ・ 全国体力・運動習慣等調査における項目の半分以上で平均を上回るようにする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
 - ・ 児童が一人一台端末を利用して、家庭学習に努めることができるようにする。
- 教職員が働きやすい環境で児童に接することができる、職場環境の改善を図る。
 - ・ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月45時間以下とする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

「自分大好き！ 友だち大好き！ 菅北大好き！」をテーマとしてすべての取り組みを進めていく。

学校・保護者、地域の三者が一体となって、自尊感情を基盤として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をはぐくんでいく。

自分大好き！・・・自分自身を好きになる・自分に自信を持つ

友だち大好き！・・・友だちを好きになること、認め、認められる集団の中で生きる。

菅北大好き！・・・菅北地域の学校、地域、自分を取り巻くすべてを好きになる。誇りに思える。



児童の主体性、意欲、根気、協力、絆、安心感、誇りをもって成長する児童をはぐくむ。

安心・安全・学力・体力などの向上につなげていく。

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標（小学校）

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童を83%以上にする。

【本校の取り組み内容】

- ・令和11年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、必要な対応をした割合を令和11年度末まで100%を維持する。
- ・年度末の校内調査において、不登校・登校渋り児童の在籍率を毎年減少させる。
- ・11年度末において「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができているか。」の割合を70%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

大阪市立菅北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】 大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標（小学校） ○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか。」に対して肯定的に回答する児童を83%以上にする。 【本校の取り組み内容】 ・令和11年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、必要な対応をした割合を令和11年度末まで100%を維持する。 ・年度末の校内調査において、不登校・登校渋り児童の在籍率を毎年減少させる。 ・11年度末において「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができますか。」の割合を70%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を96%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「人の役に立つ人間になりたいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	<p>進捗状況</p>
<p>取組内容① 【施策1 安全で安心な教育環境の実現】 学校行事・学級活動などを充実させるなどして、児童一人一人が活躍できる場や認められる場を計画的、日常的に設定することで、学校を安心して楽しく過ごせる場所にする。</p> <hr/> <p>指標 校内調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか？」に対して肯定的に回答する児童の割合82%以上にする。</p>	
<p>取組内容② 【施策2 豊かな心の育成】 学級集団を中心に認め合い支えあう意識を高める。学級での係活動、高学年での委員会活動の活性化や当番活動などの取り組みを充実させながら児童が人の役に立ちたい、立っている意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指標 校内調査「人の役に立つ行動ができた」と肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。</p>	

<p>取組内容③ 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>自分自身を好きになり友だちも好きになれるような認め合える集団の育成に努め、自尊感情を高める。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に答える児童の割合を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容④ 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>あいさつを通して気持ちを伝えたり、自分に関わる人たちとあいさつを交わしたりすることで、人と人との関係をスムーズにできるようにする。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査「すすんでよくあいさつをしている」に対して肯定的に答える児童の割合91%以上を維持する。</p>	
<p>取組内容⑤ 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>日々の学級活動や学習、行事などを通して、友達のことが大切にできる。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査で「自分の大切さだけでなく、他の人の大切さを認めることができますか。」に対して、肯定的に答える児童の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑥ 【施策3 連携】</p> <p>P T A ・地域との連携を図り、児童の安心安全の向上、菅北地域の活性化のサポートを図り、児童が活躍できる機会、場所を一層確保する。</p>	
<p>指標</p> <p>情報発信を積極的に行うことで、交流を深めていく。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度に向けた改善点</p>	
<p>取組内容① 【施策1 安全で安心な教育環境の実現】</p> <p>取組内容② 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>取組内容③ 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>取組内容④ 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>取組内容⑤ 【施策2 豊かな心の育成】</p> <p>取組内容⑥ 【施策3 連携】</p>	

大阪市立菅北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標を達成するための年度目標(小学校)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校学力経年調査における国語及び算数の正答率の全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 全国体力・運動習慣等調査における項目の半分以上で平均を上回るようにする。 読書タイムやブックサポートなどを使って読書に親しみ、読書ノートを活用して読書意欲を高める。校内調査「本を読むことが好き」に対して肯定的に答える児童の割合を高める。 「よい姿勢を保つことができる」に対し肯定的に答える児童の割合を75%にする。(姿勢体操、体幹トレーニング、学習の姿勢、食事の姿勢など) 食育を通して、自分の健康に関心を持つ気持ちを向上させる。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業</p> <p>学力状況調査・学力経年調査の分析結果、個人の学習進捗に合わせ、児童一人一人の学力に応じた学習指導の充実を図り、専科担任制を活用して教材研究を充実させ、わかる授業を展開する。</p>	
<p>指標</p> <p>国語科・算数科において、3年生から6年生の大阪市学力経年調査の平均得点で大阪市の平均を超える。</p>	
<p>取組内容②【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業力</p> <p>授業力の向上を図る。同時に若手教員の育成にも努める。</p>	
<p>指標</p> <p>研究テーマに沿った公開授業を一人一授業をする。また、研修等を充実させることによって、授業力、教材研究力などの教員一人一人のスキルアップを図る。</p>	
<p>取組内容③【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 自主学习</p> <p>家庭において宿題以外に学年の発達段階に応じた自主学习に取り組ませることで、家庭における自主学习の習慣を身に付けさせる。</p>	

<p>指標</p> <p>校内調査「家で自主的な学習をしている」に対し肯定的にとらえる児童の割合を前年度より向上させる。</p>	
<p>取組内容④【施策8 生涯学習の支援】 読書活動</p> <p>読書タイム、読書活動、読書の機会、読書の授業などを積極的に工夫して、読書に親しみ、読書ノートを活用して読書意欲を高める。読書に慣れ親しませ、文章を読むことを厭わない児童を育成する。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査で「本を読むことが好き」に対して肯定的に答える児童の割合を高める。</p>	
<p>取組内容⑤【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 対話的学習</p> <p>「主体的、対話的で深い学び」を意識した授業を通して、児童が対話的な活動において、自分の意見を持ち、表現することで主体的に学ぶ姿勢を育む。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」と、肯定的に回答する児童の割合を向上させる。</p>	
<p>取組内容⑥【施策5 健やかな体の育成】</p> <p>体育の授業の工夫や体育的な行事、運動強調週間などを活用して児童が進んで運動をしようとする意欲を向上させる。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査で「進んで運動しようとしている」に対し肯定的に答える児童の割合を増加させる。</p>	
<p>取組内容⑦【施策5 健やかな体の育成】</p> <p>児童を主体として、本校独自の体幹姿勢体操に継続して取り組む。体幹姿勢体操を通して、体力の強化、日常生活の中で姿勢を意識できるように努める。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査で「よい姿勢を意識して、日常生活の中で姿勢を意識して生活することができる」に対し肯定的に答える児童の割合を増加させる。</p>	
<p>取組内容⑧【施策5 健やかな体の育成】</p> <p>食育を通して、児童を主体として、食に関する習慣（バランスよく食べる、よくかんで食べる。）を意識できるように努める。</p>	
<p>指標</p> <p>校内調査で「食に関心を持って食事をしているか」で肯定的に答える児童の割合を維持する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度に向けた改善点</p>	
<p>取組内容①【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業</p>	
<p>取組内容②【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 授業力</p>	

取組内容③【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 自主学習
取組内容④【施策8 生涯学習の支援】 読書活動
取組内容⑤【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 対話的学習
取組内容⑥【施策5 健やかな体の育成】
取組内容⑦【施策5 健やかな体の育成】
取組内容⑧【施策5 健やかな体の育成】

大阪市立菅北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が一人一台端末を利用して、家庭学習に努めることができるようにする。 <p>○ 教職員が働きやすい環境で児童に接することができる、職場環境の改善を図る。</p> <p>教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月45時間以下とする。</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【施策6 教育DXの推進】</p> <p>SKYMENU や One Drive (学習系システム) を利用した活動を毎日取り入れることで活用率を向上させる。(毎日使用する。)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>校内調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p>令和7年度末 2月末 年間累計 59.7%</p>	
<p>取組内容②【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>個に応じたデジタル教材やアプリケーションを選定することで、個別最適な学び・協働な学びを行える環境整備をする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>校内調査「タブレットを使った学習は、役に立っている」と肯定的に答える児童の割合を維持する。</p> <p>令和5年度末 91.2% 令和6年度末 88.0%</p> <p>令和7年度末 90.1%</p>	
<p>取組内容③【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>校務系システムを利用したり学年団で協力したりして効率よく連絡することで、時間外勤務時間が45時間以上の教員を前年度以下にする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>月の時間外勤務時間が45時間以下の職員の割合を増やす。</p> <p>令和6年度 月平均39.5h 45hを超える教職員 月平均 8人)</p> <p>令和7年度 月平均36.25h 45hを超える教職員 2月実績7人</p>	
<p>取組内容④【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員が身体的、精神的に健康な状態で余裕をもって児童にかかわることができるように、会議や全体会を精選する。また、「ゆとりの日」には、会議や打ち合わせを設定しないようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>「ゆとりの日」を週に1日の設定を維持する。</p> <p>(通常のゆとり日 セット18:30 月1のゆとりを18:00にセットする。)</p>	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
今後の改善点
取組内容①【施策6 教育DXの推進】 取組内容②【施策4 誰一人取り残さない学力の向上】 取組内容③【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 取組内容④【施策7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】